

第2期福島県会津地域基本計画の概要

計画のポイント

- ・会津地域が数百年の長い歴史の中で育んできた地域資源活用型産業と、公設試や大学等を通じて先端技術と融合することにより、高付加価値化を目指す。
- ・ICT専門大学である会津大学の立地や、ICT技術等との融合により、さらなる高度化が期待される産業基盤が集積している特性を最大限に生かし、ICT企業の集積を図るとともに、IoTやAIなどのICT技術を地域に実装していく。
- ・水力発電所や地熱発電所が存在し、再生可能エネルギーも盛んな地域であることから、近年進む再生可能エネルギー施設や関連産業の集積をこれからも一層図るとともに、ICT技術やアナリティクス産業（データ分析）との先端産業との融合により、さらなる高付加価値化を目指す。
- ・医療関連産業分野において、「先端産業向け高度部材産業」の集積を活用することにより、地域経済牽引事業を促進する。

促進区域

福島県会津地域（会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町）

経済的効果の目標

1件あたり4,383万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を15件程度創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.3倍の波及効果を与え、促進区域で約8.5億円の付加価値を創出する。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】

- ①会津地域の先端産業向け高度部材産業の集積を活用した成長ものづくり分野
- ②会津地域の会津漆器や会津桐製品等の伝統技術を活用した成長ものづくり分野
- ③会津若松市の大学やベンチャー企業等のICT人材を活用したデジタル分野（IoTの地域展開）
- ④会津地域の自然エネルギー関連技術を活用した再生可能エネルギー関連産業
- ⑤会津地域の「先端産業向け高度部材産業」の集積を活用した医療関連産業分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,383万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 雇用者数：1%増加
- 売上げ：2%増加
- 雇用者給与等支給額：1%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置の継続
- ・地方創生関係施策を予定（航空宇宙産業の事業環境整備や新規参入企業育成等）
- ・情報発信の充実 ・事業者からの事業環境整備の提案への対応

地域経済牽引支援機関

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター、公立大学法人会津大学、（公社）福島県産業振興センター、会津若松商工会議所、会津喜多方商工会議所、福島県商工会連合会会津広域指導センター、会津産業ネットワークフォーラム（ほか）

《促進区域図》



《成長ものづくり分野とICTオフィス（イメージ図）》



計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで